

価値創造のかたち

azbilグループの理念・歴史

オートメーションによる価値創造をDNAとして、一世紀余りにわたって産業・社会のサステナビリティに貢献

1906年に創業したazbilグループは、創業の理念を継承した「グループ理念」を定めてオートメーションによる新たな価値創造を探索するとともに、事業の発展を通じた産業・社会のサステナビリティへの貢献を目指しています。

起業精神「人間を苦役から解放する」を原点に 日本の産業・社会の発展に寄与

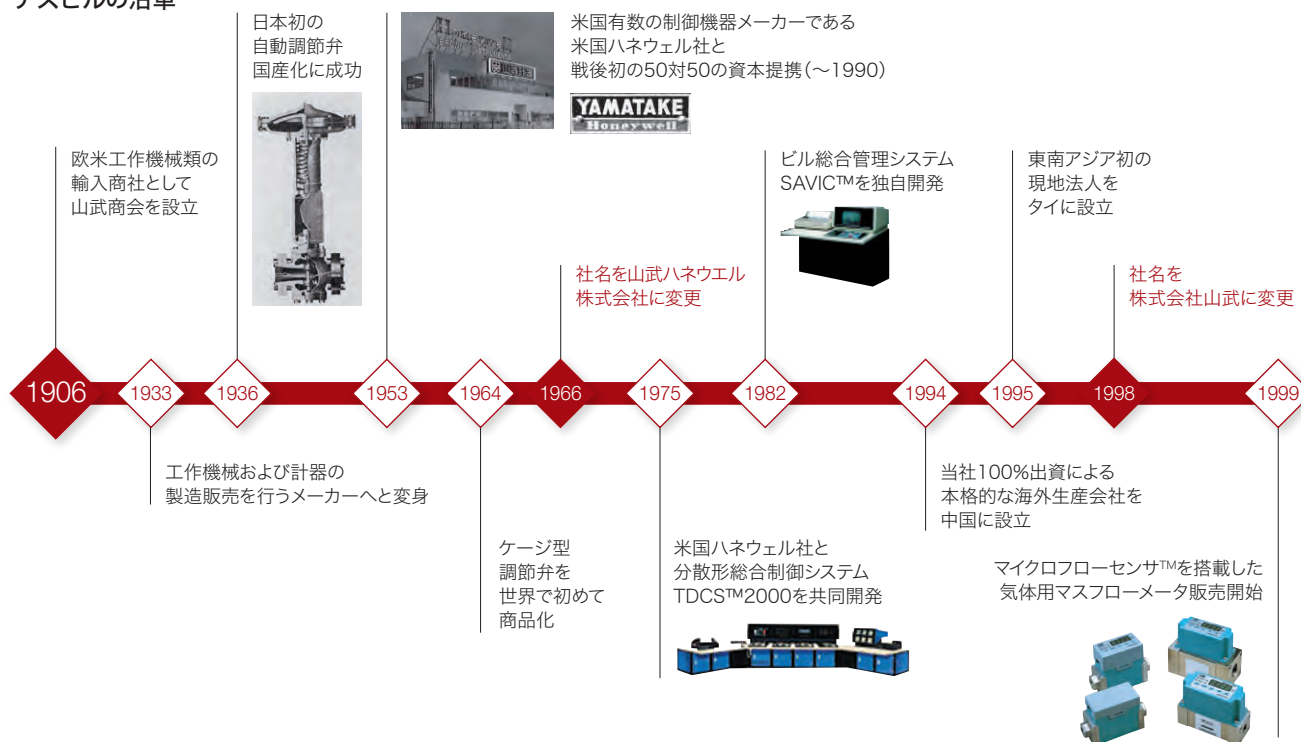
azbilグループは、創業者・山口武彦の「日本の勤労者を苦役から解放したい」という志を受け継ぎ、これをDNAとして、オートメーションに関わる製品・サービスの提供を通じて産業・社会が直面する課題を解決してきました。1906年の工作機械の輸入に始まり、その後取り扱い品目を工業計器へ拡大。

1950年代には空調制御機器やマイクロスイッチなどを販売すると同時に、機器の自主開発、国産化にも力を注ぎました。オートメーションの必要性を理解し、いち早く事業化した山武（現アズビル株式会社）は、戦後復興期から高度成長期に至る日本の産業界の発展に多大な貢献を果たしてきました。

環境の変化に対応し、常に新しい時代の価値を創造

総合オートメーションメーカーとして、大型建物の空調制御や石油化学プラントのプロセス制御等を通じて日本の高度経済成長に貢献し、成長してきた山武ハネウエル株式会社（現アズビル）でしたが、1970年代からは、省エネルギー、省力を求める社会の要請を受け、オートメーション技術に

アズビルの沿革



1906～1950年代

人間の苦役からの解放

工業計器の輸入～国産化

1906年に山武商会を創業。ドイツより工作機械の輸入販売を始め、その後、米国のブラウン社（後のハネウエル社）の工業機械・計器の製造販売を行うメーカーに転身。日本の素材産業の発展とともに工業計器の生産を拡大し、戦後日本の復興・重工業の発展に貢献。

1950～1970年代

First in control

オートメーションによる高度経済成長への貢献

1952年に米国ハネウエル社と技術導入提携契約を結び、同社の持つ空調制御技術や燃焼安全制御技術、マイクロスイッチなどを日本に導入し、総合オートメーションメーカーへ進化。独自技術による革新的な電気式小型計器や、大規模建物に対応した中央監視システムなどを普及。

よって省エネルギーなど多彩な価値をもたらす製品・サービスを展開し、産業・社会のニーズに応え、高い評価を得ました。

オートメーションによる価値創造を通して、「持続可能な社会へ『直列』に繋がる貢献」を目指す

地球温暖化の影響の顕在化や新型コロナウイルスによる行動変容等、サステナブルな事業・地球環境・社会への関心がさらに高まっています。azbilグループは、世紀を超えて創業の精神を進化させた「持続可能な社会へ『直列』に繋がる貢献」を掲げ、事業環境の変化に応える新たなソリューションの提供とともに、ライフサイクルを通じて建物・工場での生産性

向上と資源・エネルギーの抑制を図ることを強みと捉え、新たな価値創造に挑戦し続けています。

グループ理念

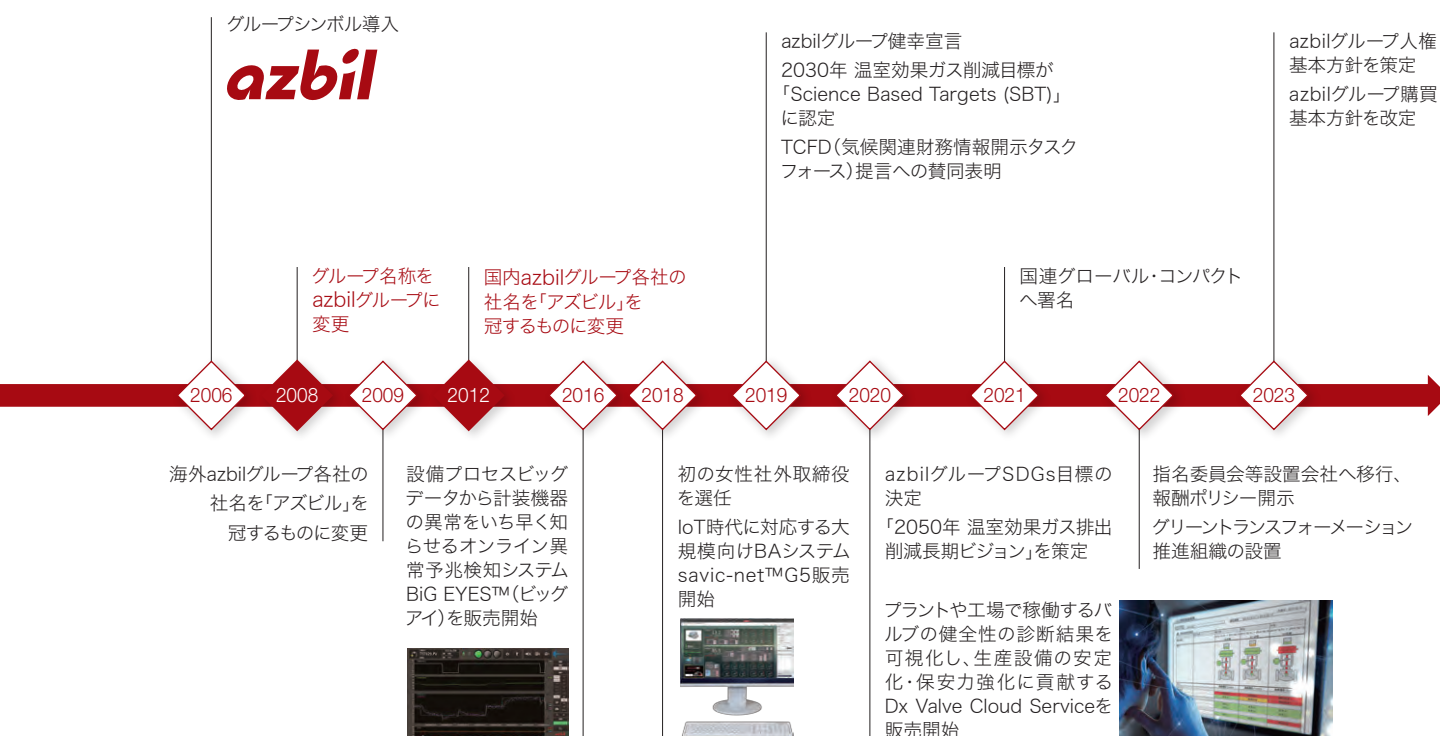
私たちは、「人を中心としたオートメーション」で、人々の「安心、快適、達成感」を実現するとともに、地球環境に貢献します。

azbil

azbilの意味

automation・zone・builder

オートメーション(automation)の技術によって、グループ理念のキーワードである安心・快適・達成感のある場(zone)を実現(build)することを表しています。



1970～2000年代

Savemation※

高性能・高精度化、省エネルギーへの貢献

石油危機を契機にあらゆる産業の省エネルギー化・省人化が進むなか、企業理念として様々な分野での「省」(=save)の実現、地球環境への貢献を明確に打ち出す。高性能・高精度の工業計器ニーズに対応した各種製品や、通信技術を活用したビルの総合管理サービスなどを展開。

※ Save + Automation = "Savemation"

2006年～

人を中心としたオートメーション

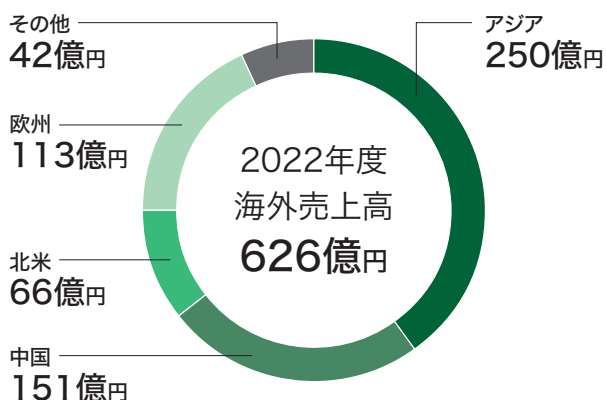
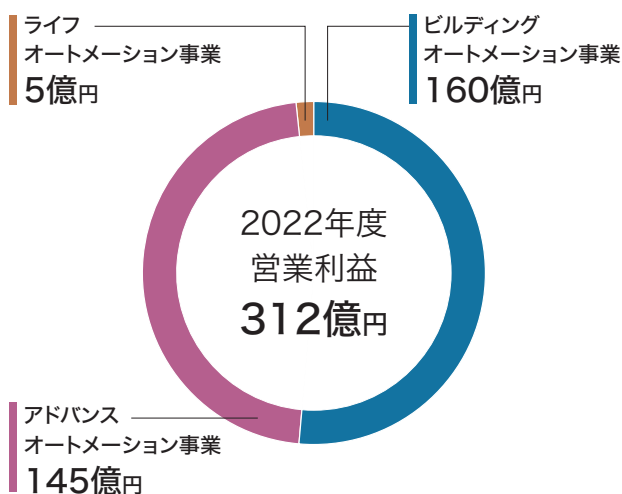
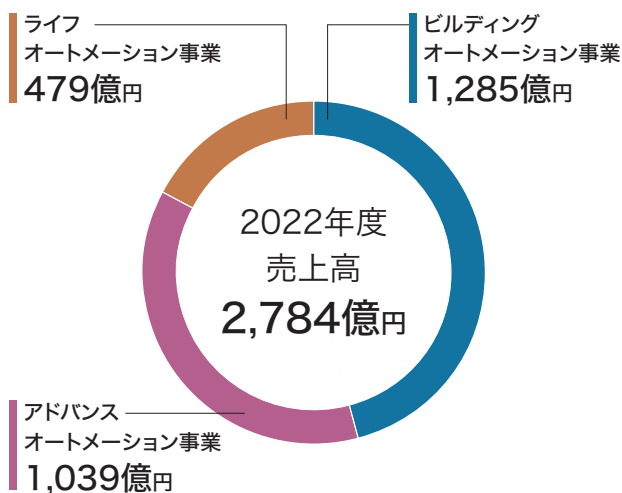
持続可能な社会へ「直列」に繋がる貢献

増大する環境保全・省エネルギーなどの社会的ニーズへの対応と持続的ソリューションの提供。

オートメーションで人々の「安心、快適、達成感」を実現するという進化したグループ理念の下、ネットワーク技術の進展とともに、AI、ビッグデータといった様々な技術革新に対応した製品やソリューションを各分野で展開。グローバルでのお客様や社会の課題解決と持続的な発展を目指す。

azbilグループの事業

azbilグループは、人々の安心・快適・達成感と地球環境への貢献を目指す
「人を中心としたオートメーション」を追求し、「計測と制御」の技術の下、建物市場で
ビルディングオートメーション(BA)事業を、工場やプラント市場でアドバンスオートメーション(AA)事業を、
ライフラインやライフサイエンス・製薬等の市場でライフオートメーション(LA)事業を展開しています。



ビルディングオートメーション事業



アドバンスオートメーション事業



ライフオートメーション事業



オフィスやホテル、ショッピングセンター、工場等、多くの大型建物で独自の空調制御技術で設備や機器を制御し、快適性や機能性、省エネルギーを実現。快適で効率の良い執務・生産空間の創造と環境負荷低減に貢献します。また、働き方の多様化への対応、クラウドやIoT技術を用いた多くの建物の電力需要の調整等、求められる役割も大きく拡大しています。

●制御システム

建物全体の室内環境やセキュリティ、エネルギーの状態等を監視・管理するBAシステム



●自動制御機器

建物を流れる冷温水や蒸気の流量を最適に調整するための高機能バルブやセンサ、調節器等を提供



●サービス

遠隔監視によりビルの運転管理を代行する総合管理サービスを提供



工場・プラントなどにおいて先進的な計測制御技術を発展させ、安全で人の能力を発揮できる生産現場の実現等、様々な製造現場での課題解決を支援しています。プラントでは機器・設備の状況のオンラインでの診断、操業データのAI学習等による異常予兆の早期発見等、安全操業に貢献しています。また半導体製造装置等のコンポーネントなど、高度なセンシング技術が最先端の半導体製造等に貢献しています。

●プロセスオートメーション分野

気体や液体の流量を調節する調節弁や流量・圧力を計測するプロセスセンサ、安全・安定した生産を実現する監視制御システムなどを、化学、鉄鋼、電力・ガスなどの様々なプラントに提供



●ファクトリーオートメーション分野

各種製造装置を最適に制御する調節計やセンサ・スイッチ類を提供



建物、工場・プラントや生活インフラの領域で永年培った計測・制御の技術やサービスを、ガス・水道等のライフライン、住宅用全館空調、ライフサイエンス研究・製薬分野等に展開、安全・安心な暮らし、健康で快適な生活を支えています。ライフライン分野では、通信機能を搭載したメーターによる検針業務の自動化等に加えて、電気・ガス・水道のデータを掛け合わせた新たなサービス展開への取組みなどを進めています。

●ライフライン分野

一般向け都市・LPガスメーター、水道メーターのほか、安全保安機器、レギュレータなどの産業向け製品を販売



●ライフサイエンスエンジニアリング分野

製薬企業・研究所に凍結乾燥装置・滅菌装置等の医薬品製造装置を提供



●住宅用全館空調システム分野

戸建住宅向けに家全体を快適にする全館空調システムを提供



事業体制

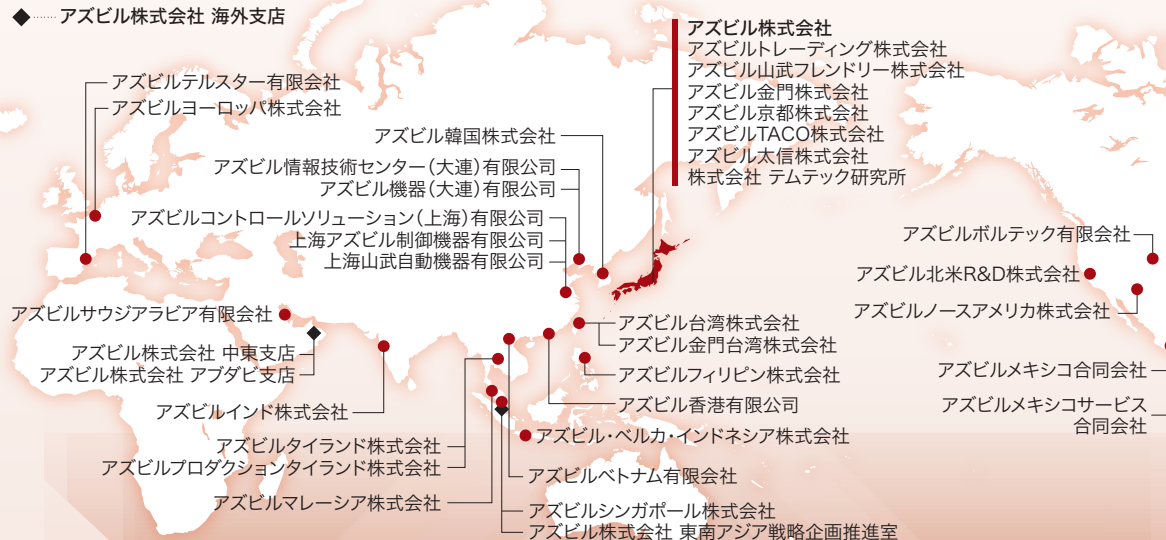
研究開発・商品開発からサービスまでの一貫した事業体制の下、お客様・社会に最適なソリューションを提供

azbilグループは、グローバルに研究開発・商品開発、生産・調達からコンサルティング・営業、エンジニアリング・施工、そして納入後のサービスまで一貫した体制をとることで、現場での課題を的確に把握し、オートメーションによるソリューションを継続的に創出、長期にわたってお届けしています。新たな社会課題が生まれ、お客様のニーズが多様化・高度化する

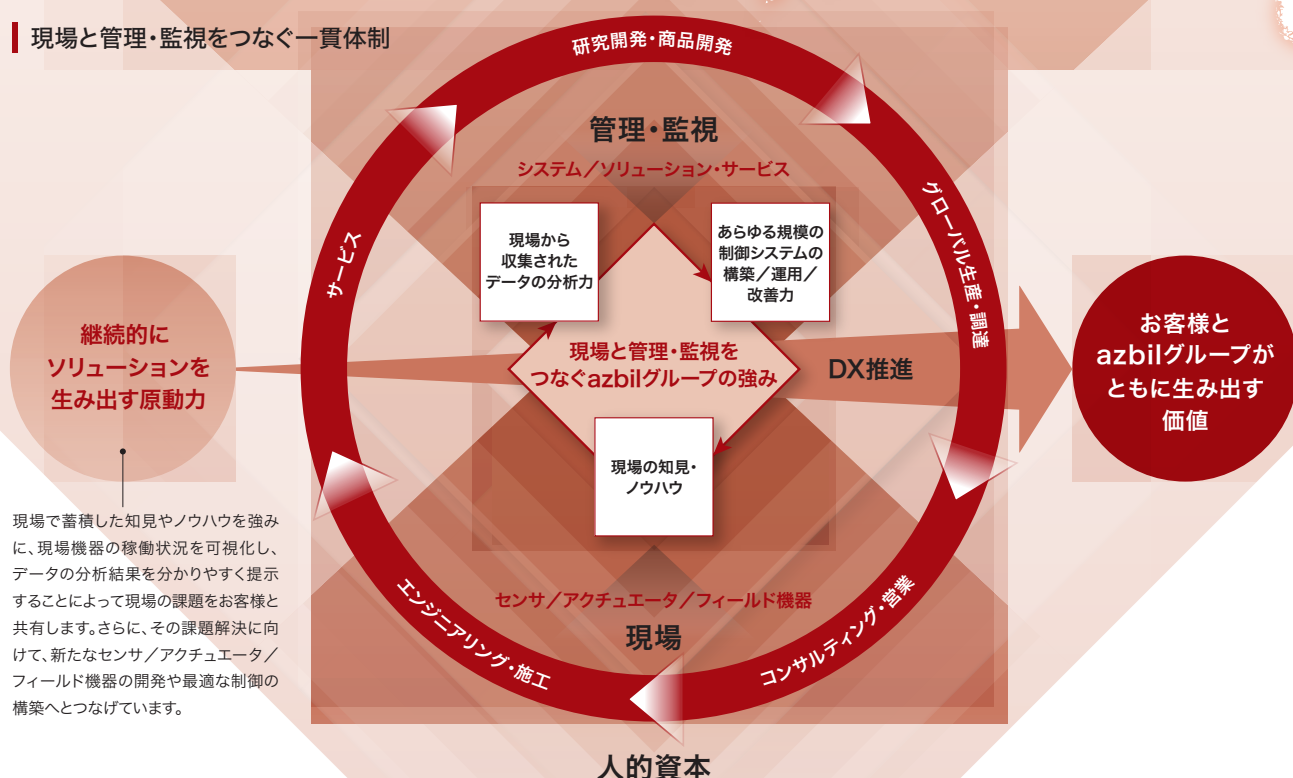
現在、私たちはこうした変化に応え、持続可能な社会の実現に貢献し、自らも成長するため、積極的な研究開発・設備投資を行うとともに、販売・サービス・エンジニアリングのデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進、人的資本への投資を進め、azbilグループの強みを活かした研究開発・商品開発力、一貫体制の強化に取り組んでいます。

グローバルネットワーク

- 海外現地法人
- ◆ アズビル株式会社 海外支店



現場と管理・監視をつなぐ一貫体制



研究開発・商品開発

azbilグループは、建物やプラント・工場の現場で様々な計測を行うフィールド機器類、そして機器から収集した情報に付加価値をもたらすアプリケーションの2つの領域に着目し、基幹技術の開発に注力しています。開発にあたっては、社会課題の解決に貢献し、お客様の現場の変革や成長を支援し続けるために、AIの応用やネットワーク、システムアーキテクチャなど、新たな技術領域の知見を広げています。また、当社グループの強みを活かし、競争力のある製品を生み出すため、独自開発のMEMS(Micro Electro Mechanical Systems)センサの性能向上と安定供給が欠かせません。azbilグループは、さらなる微細化の追求によるMEMSセンサの性能向上のほか、新検出原理の探究や新材料を用いたデバイス開発による商品価値の向上に取り組んでいます。こうしたシステムソリューションとデバイス、フィールド機器の開発力の強化のため、研究開発拠点「藤沢テクノセンター」に最新の設備、開発環境を備えた新棟を2022年に新設しました。また、技術開発・生産部門の機構改革を実施しています。

(参照：p59-64 研究開発・商品開発)

グローバル生産・調達

日本・中国・タイを3極とする生産体制を敷き、サプライチェーンでの社会的責任を果たすとともに、グローバルな事業展開を支える最適な生産体制の構築を進めています。マザー工場としての湘南工場・藤沢テクノセンターを中核に、生産技術等のレベルアップを図るほか、グローバルでの需要拡大に対応した生産能力拡大の一環としてアズビル機器(大連)有限公司に新工場棟を新設しました。引き続きアズビルプロダクションタイランドの生産能力拡大を進めています。なお、2022年度においては部品不足・調達難に対応すべく生産・調達力を強化し、実績を上げることができました。

(参照：p65-66 生産・調達)

コンサルティング・営業、エンジニアリング・施工、サービス

営業・サービス拠点を23カ国／地域に展開し、商品・サービスを提供しています。計画・運用・保守・改善・リニューアルといったお客様のライフサイクルの各段階における様々なニーズに対応するため、セールスエンジニア、システムエンジニア、フィールドエンジニア、サービスエンジニアがそれぞれの現場で最適なソリューション提供に取り組んでいます。海外の人員・拠点増強等、販売・サービス網のさらなる強化に加えて、DXの推進、リモートメンテナンスなどクラウド活用によるサービス基盤の強化等を進めています。

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進

オートメーションが果たすべき役割・機会が拡大していると捉え、最新のデジタル技術を活用して事業展開の加速と提供価値のさらなる向上を目指しています。開発部門でのIoTやクラウドAIの活用、生産拠点でのクラウドMES導入や現場での生産DX拡大、専門組織によるサイバーセキュリティ対策・管理等を推進しています。またDX推進に向けて社員教育の充実、DX人材の採用等、人材を強化しています。

(参照：p57-58 デジタルトランスフォーメーション(DX))

人的資本

お客様の現場で課題を把握し、最適なソリューションをお届けするには、例えば、高い技能・豊富な知識をもったエンジニアが必要となります。そのためリスキリングなどの適切な人材育成から事業の成長・拡大に向け、事業戦略と整合する人材の確保等、人的資本への投資を積極的に推し進めています。併せて、財務施策と連動した従業員インセンティブ・プランや人事諸制度の改革・充実も進めています。この観点から、独自のSDGs目標にも人材育成の目標を設定し、全社員の育成、成長を目指しています。

(参照：p69-72 人的資本)